

～ 医療法人わかば会のケア情報誌 ～

わかば倶楽部



わかばテラスの彼岸花と稲穂

October
2014Vo.43
10月号

編集・発行／医療法人わかば会
〒857-0016 佐世保市俵町 22-1
Tel 0956-22-6548 Fax 0956-24-7270
<http://www.wakabakai.or.jp>



敬老の日のイベント紹介



デイサービス里山療法クラブでの活動



里山ガーデンで最期まで生きる力を育む



九州医事新報で当院の取り組みが紹介されました

- 10月には神無月、語源は神を祭る月であることから「神の月」とする説が有力とされ、「無」は「水無月」と同じく「の」を意味する格助詞「な」です。中世の俗説には、10月に全国の神々が出雲大社に集まり、諸国に神がいなくなることから「神無月」になったとする説があり、出雲国（現島根県）では反対に「神在月」（かみありづき）と呼ばれるそうです。その他の説では、雷の鳴らない月で「雷無月（かみなしづき）」が転じたとする説や、新穀で酒を醸す月なので「醸成月（かみなしづき）」が転じたとする説があるそうです。

里山レシピのご紹介 かぼちゃの あっさりプリン 1人分 65Kcal



材料 直径14cmのケーキ方（約8人分）

プリン

水・・・・・・・・大さじ1
粉ゼラチン・・・・・・・・小さじ1
A { 水・・・・・・・・カップ1弱
粉寒天・・・・・・・・小さじ1/2
卵・・・・・・・・1個
砂糖・・・・・・・・カップ1/2弱
かぼちゃペースト・・・・かぼちゃ
約1/4個分（正味200g）
〔種と皮を除いたかぼちゃを蒸し、
裏ごし又はミキサーにかけたもの〕
バニラエッセンス・・・・適量

ココナッツソース

ココナッツミルク・・大さじ2/3
牛乳・・・・・・・・大さじ2
砂糖・・・・・・・・小さじ1
コーンスターチ・・・・小さじ1/2

トッピング

茹でかぼちゃの皮・・・・適量
市販のかぼちゃの種・・・・8粒

作り方

- ① 水に粉ゼラチンをふり入れて10分ほどふやかしておく。
- ② 鍋にAを入れて混ぜ、火にかける。ひと煮立ちしたら火を止めて、熱いうちにざるでこしながら別の鍋にうつし、①と砂糖を加え混ぜて溶かす。
- ③ かぼちゃペーストを加えてよく混ぜ、バニラエッセンスを加えて型に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
- ④ ココナッツソースを作る。耐熱容器にソースの材料をすべて入れ、ラップをしないで電子レンジで約20秒加熱し、よく混ぜて冷蔵庫で冷やす（吹きこぼれに注意）。
- ⑤ かぼちゃプリンを型からはずし、1/8にカットして皿に盛り、④のソースをかけ、茹でかぼちゃの皮と市販のかぼちゃの種を飾る。

医療法人わかば会

● 俵町浜野病院（Tel 0956-22-6548）

【医療】内科・外科・循環器科・呼吸器科・消化器科・整形外科
肛門科・リハビリテーション科
病室（一般病棟26床・療養病棟38床）

【介護】居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション
デイケアセンター・グループホーム・訪問看護ステーション

● 有料老人ホームわかばテラス（Tel 0956-76-8780）

【介護】デイサービス風祭り・デイサービス里山療法クラブ

● サービス付高齢者向け住宅わかばレジデンス（Tel 0956-22-6544）

● 有料老人ホームわかばハウス（Tel 0956-22-6535）

【介護】小規模多機能ホームわかばハウス

わかば会の理念

wakaba-gokoro
わかばごころ

和

和をもって、一人ひとりの施設づくり

環

環になって、患者さまとの健康づくり

話

話によって、みんなで育む関係づくり

れています。

この活動を知ったアメリカのラトガース大学の研究者と同ラトガース大より長崎大学環境科学部教授として赴任される五島先生から、

どを栽培しています。自然の中で楽しく過ごせるだけでなく、医学的にも自律神経機能が改善し、免疫細胞が活性化するなど良い結果が得られています。



風を感じる。それが生きる力につながると考え、ダイケアに來た人たちに病院にある菜園で花や野菜を栽培してもらっています。収穫する時は皆さんとてもいきいきしています。ダイケアの中にいる時より目に輝きがあり、動きもテキパキしています。これはいわゆる園芸療法です。この作業を美しい日本の風景、里山ガーデンの中で行う。それが里山療法です。食べることは生きることです。食べ物を育て、収穫し、調理して食べる。野菜を家庭に持って帰るとご家族も喜びます。それが生きがいにつながり、また来年も栽培したいと未来への希望がわきます。

それまで畑仕事などした
こともない人がほとんど
です。農作物を作ること
は人間のエネルギーの源
なのではないかと思えた
経験でした。心の奥底に
ある生きるためのエネル
ギーをいかに引き出すか
が、我々の仕事だと思い
ます。里山ガーデンが小
さな集落の役割をしてい
るのかもしれない。

生きる糧を皆で分かち合うことが人間の生きがい
になります。それを多くの人が体験し、元氣になっ
てもらうことで、医療費、介護費の削減にもつながるの
ではないかと思っています。



グループホームわかば 敬老会
 デイサービス風祭り 敬老会



祝敬老



月見饅頭作り



流しそうめん



月見饅頭



ヘチマの収穫

九州医事新報に掲載

9月20日（土）発行の「九州医事新報」で、当法人の取り組みが掲載されました。九州医事新報とは、医師及び医療従事者を対象に専



門情報を豊富に
盛り込んでいる
九州で唯一の医
学情報誌です。

里山ガーデンで最期まで生きる力を育む

医療法人わかば会

[illegible][illegible]

今わが社会は在宅医療
その中でも施設在での
終末期医療に力を入れて
います。グループホーム
の人も昔が病気になる
入院するとすぐに帰た
ります。グループホーム
が自分の家だと思っ
てくれているからです。
日本人の希望があれば病
が重くてもできる限り早
く戻っていただきます。
看取はグループホーム
で行います。ササ生住宅
宅型有料老人ホームに
行つた後は、病院で医
療を受けた人と同じに
して、なじみの人々に

里山ガーデンで
最期まで生きる力を育む

九州医事新報掲載記事より抜粋）

医師は、高齢者が直面している疾患だけでなく、その人が歩んできた人生や歴史をふまえてその方の問題を考えなければなりません。治療、介護の説明をするとき、寂しそうな表情を浮かべる人が多くいます。でも現役で活躍していたころの話を聞いてあげると表情が明るくなり、今後の人生に正面から向き合い、リハビリなどに取り組む気持ちになるようです。テラス入居者でお茶の先生をなさっていた人には庭で野点の会をしていただき、踊りの先生には入所者の前で踊っていたたく、人生の輝かしい一幕を施設に入っても披露することで、周りの人たちに元氣を与え、本人の気持ちも前向きになると思います。

そのような経験を踏まえ、高齢者を「くくり」にしてしまわず、各人に応じた細やかなケアを提供する仕組みを作らねばならないと考えるようになりました。不自由になった時こそ家族に迷惑をかけず、気の合う人達と過ごすことでストレスが軽減し、リラックスして過ごせる、そうした良い介護の場が今後はずっと必要になってくると思います。



2025年問題やこれから迎える多死時代を考え、わかば会では急性期から慢性期、リハビリ、介護にいたるまで、できる限りの診療体制を整えています。私は若い頃大阪で循環器の3次救急病院にいましたし、救急専門の外科医もいるのでほとんどのケースに対応できます。どうしても手に負えない場合は、協力病院に搬送しています。我々が出来る範囲で救急医療を行ない、その後療養病棟に移る。それから帰宅する時にショートステイと在宅をつないでいこうと考えています。わかば会は法人内に多くの施設があるので介護プランの変更などが迅速に行なえます。

今わかれ会は在宅医療、その中でも施設在宅での終末期医療に力を入れています。グループホームの入所者が病気になるって入院するとすぐに帰りがります。グループホームが自分の家だと思ってくれているからです。

ご本人の希望があれば病気が重くてもできるだけ早く戻っていただけます。看取りはグループホームで行います。サ高住や住宅型有料老人ホームも同じです。病院での医療を行うた後は、なじみの場所でのなじみの人たちに囲まれている方が幸せで、穏やかな人生の終わりを迎えられると思っています。方がほとんどです。



団塊の世代が高齢者になった時を考え、その方を支える仕組みとして、私達が取り組んでいる里山療法についてお話します。外に出て太陽の光を浴び